

伊達市議会だより

Date city Assembly

vol. 36 議会広報委員会
2014.11.13

9月定例会の主なもの ②

一般質問 ④

審議審査 ⑤

みなさんからの請願・陳情 ⑩

請願・陳情について ⑪

議会のうごき ⑫



ちゅうぼう
佐藤 忠望 氏
(1852~1904)

「農業協同組合発祥の地」記念碑

昭和40年5月、旧上小国小学校(現小国地区交流館 霊山町上小国字腰巻7)の校庭に、「農業協同組合発祥の地」記念碑が建立されました。記念碑には、「明治三十一年十月二十三日佐藤忠望先生この地に日本最初の農業協同組合を創立す」と記されています。佐藤忠望氏は、明治23年(1890)の第1回帝国議会選挙において福島1区から当選した国会議員です。農民の生活が困窮していることを憂えた佐藤忠望氏は相互に資金を出し合い、生活資金を貸し付ける小国信用組合を創立し、住民の救済にあたりました。実に、産業組合法制定の2年前のことでした。

■一般会計補正予算(第3号)

平成26年度一般会計補正予算は、22億3,239万1千円を増額し、予算総額を361億9,607万4千円としました。

★主な事業内容

- ・農産物モニタリング調査事業 4,000万円
伊達市地域農業再生協議会への補助（米の全量全袋検査経費4,000万円）を実施します。
- ・公園遊具更新事業 1億3,169万円（国補助）
福島定住等緊急支援交付金事業を活用し、やながわ希望の森公園および赤坂の里森林公園の遊具更新事業を実施します。
- ・その他
基金積立費 16億315万7千円

【基金積立費の内訳】

基金の名称	積立額	年度末見込額
財政調整基金	315万7千円	42億3,913万5千円
減債基金	4億円	9億6,737万4千円
公共施設維持整備基金	8億円	32億4,865万7千円
教育施設整備基金	4億円	10億9,329万2千円

■主な議案（財産の取得）

梁川屋内運動場の遊具を設置します。

「岩のお山ほか」一式 5,616万円



梁川屋内運動場遊具
完成イメージパース

平成26年第6回伊達市議会定例会は9月4日に招集され、9月26日までの23日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、報告4件、条例制定5件、条例改正2件、補正予算1件が追加提案されました。これらの案件は、一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、平成25年度伊達市一般会計歳入歳出決算については「不認定」としました。その他の案件については、原案のとおり可決・認定しました。

平成25年度 一般会計

決算不認定!

平成25年度一般会計歳入歳出決算については、市道側溝除染業務委託事業において、支払い後に除染未施工区間が発覚し、また、市や議会の調査委員会で調査中のため、決算を認定できないとの意見が多数出され、採決の結果「不認定」となりました。（8ページに関連記事を掲載しています）

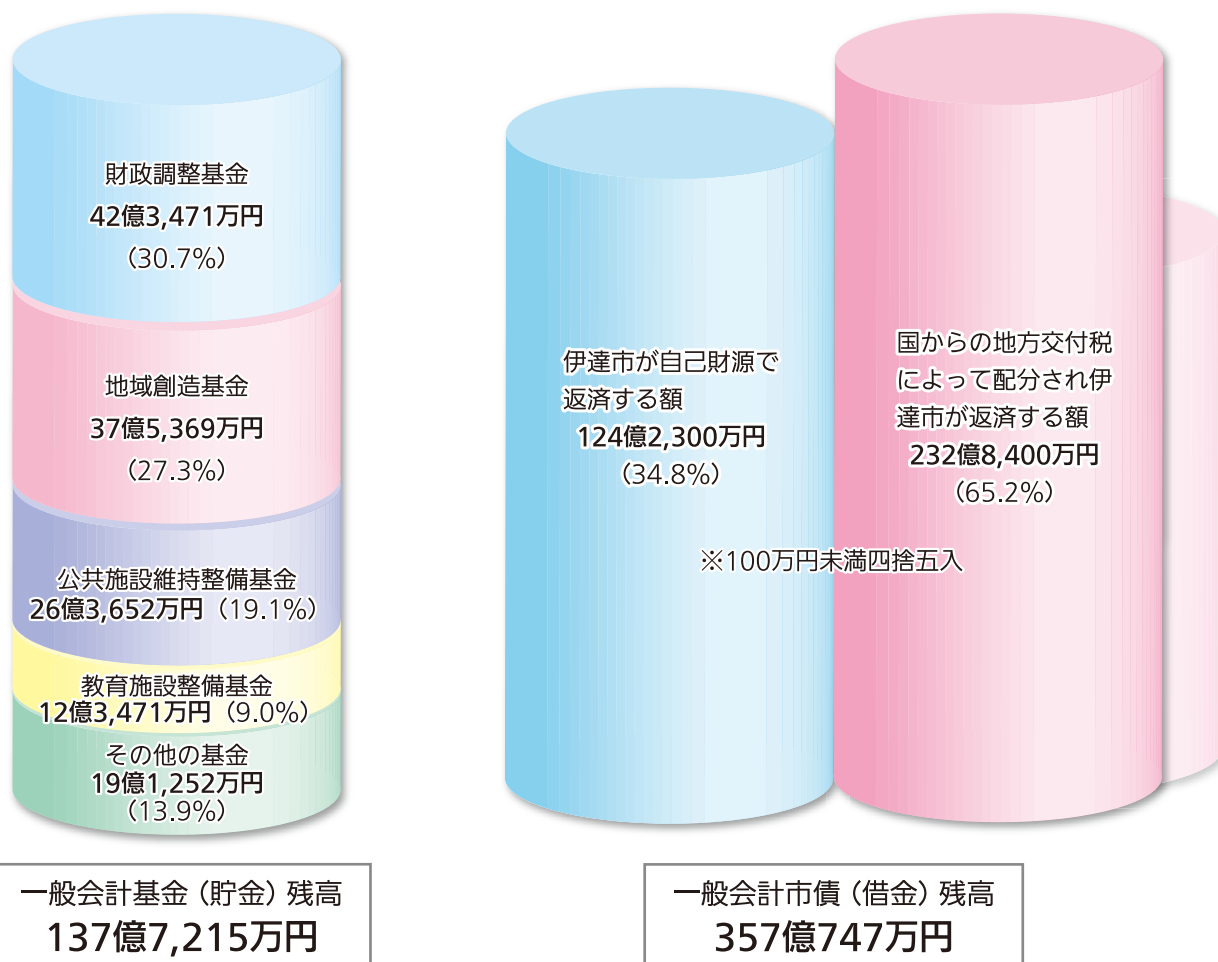
■平成25年度決算の基金と市債

平成25年度決算の概要については市政だよりでお知らせしていますので、議会だよりでは、平成25年度末時点での基金（貯金）残高と市債（借金）残高を比較しました。

25年度末	基金残高（貯金）
一般会計	137億7,215万円
特別会計	3億9,234万円
合 計	141億6,449万円

25年度末	市債残高（借金）
一般会計	357億 747万円
特別会計	79億 655万円
水道事業	67億2,576万円
合 計	503億3,978万円

【一般会計の基金と市債の比較】



9月定例会

一般質問では15人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

問Q 一般質問 A答

一般質問議員と質問項目

■9月10日登壇

橘 典雄 議員

1. 霊山高原構想について
2. 霊山と山伏について
3. 霊山寺と慈覚大師について
4. 霊山城と北畠顕家について

原田 建夫 議員

1. 食物アレルギー対策について
2. 図書館運営について
3. いじめ、不登校について

八巻 善一 議員

1. 伊達市の過疎、中山間地域対策について

佐々木 彰 議員

1. これからの施設管理について
2. 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と伊達市について

清野 公治 議員

1. 土砂災害防止対策について
2. 市の農業振興対策について
3. 自主避難者に対する帰還対応について

■9月11日登壇

菊地 邦夫 議員

1. 高齢者福祉対策について
2. 教育行政について
3. 交流館と地域自治組織について

佐藤 直毅 議員

1. 地域自治組織の構築の進捗について
2. 大泉総合公園の施設整備と大泉駅周辺の開発について
3. 健康都市づくりの推進について
4. 学校給食における食物アレルギーの対応について

近藤 真一 議員

1. 障がい者支援について
2. 自立した行政経営の確立（業務改善推進事業）について
3. 低所得者支援について
4. 伊達市斎場周辺の環境整備について

佐藤 清寿 議員

1. 除染の目標としてきた、0.23マイクロシーベルトについて
2. 介護保険事業について
3. 梁川地区の防災対策について
4. 通学支援について

丹治千代子 議員

1. Cエリアの除染について
2. 小学校の統廃合について
3. 交流館事業・自治組織の立ちあげについて

■9月12日登壇

大條 一郎 議員

1. 道路の管理と予防保全について
2. 消費者行政について

■夫婦岩・霊山寺・霊山城について



橘 典雄 議員

Q

霊山は聖地で、山伏の研修場があり、天台宗・円仁（慈覚大師）により開山され、霊山寺が建立されました。ここを観光地にしないことは損をしています。また、阿武隈山地は、自由民権運動の発祥の地であり、板垣退助も河野広中（中）の家に学びに来いましたし、旧堰本村の故 菅野嘉氏と一緒に写真が残っています。第1回福島県議会議員全員と写っています。阿武隈山系は、日本の中心くらいの活動をして欲しい。それを構想に役立てて欲しいと思います。考えを伺います。

A

伊達市の歴史・観光について、霊山高原構想という全体計画の中で、官民連携により、具体的に取り組んでいきたいと考えています。北畠顕家は、勅命により足利尊氏を追い払った総大将です。総参謀は楠木正成、副参謀は新田義貞で、現在も楠木神社と新田神社は多くの参拝客があります。総大将北畠顕家の資料館をつくるべきだと思うのですが見解を伺います。

A

資料館の整備は考えていません。出土品の保管のための施設を優先すべきではないかと考えています。

A Q

霊山高原構想について伺います。官民連携事業で具現化に向けて検討を進めていきたいと考えています。

3. 防犯灯のLED化について
4. 水痘・肺炎球菌ワクチンの定期予防接種について

大和田俊一郎 議員

1. 五十沢地区内水処理施設建設について
2. 梁川町西バイパス建設について
3. 市内の側溝の除染について
4. 梁川小学校建設について

菅野 喜明 議員

1. 伊達市のふるさと納税について
2. 伊達市の子育て支援について
3. 伊達市の復興をめぐる諸問題について
4. 伊達市の交流館について
5. 旧特定避難勧奨地点地区への施策について

高橋 一由 議員

1. 公約通り除染を実施すべきについて
2. 地方交付税減額（一本算定）対策・経費削減について
3. 放射能被害、市民への代償について

中村 正明 議員

1. ゆるキャラで伊達市に元気をについて
2. おもてなし観光案内看板について
3. 市民が願う除染とはについて

■教育行政について



原田 建夫 議員

す。

A 小・中学校の食物アレルギーを有する児童・生徒は229人で、アレルギー疾患ガイドラインにより対応しています。

Q 学校図書館の効果的活用は、児童・生徒の学力向上につながると思われる。図書館を授業で活用しやすい環境に整備し、多く活用した学校ほど正答率が高いと言われています。学校図書館の運営状況を伺います。

A 各小・中学校に司書を配置し、効果などを検証、分析し、さらに各学校への配置、増員を検討していきます。市立図書館と中央交流館をネットワーク化しました。学校図書はネットワーク化に至っていません。

Q いじめは、人間の尊厳を傷つける重大な人権問題で、人として許されぬ行為です。いじめの現状について伺います。

A 年2回、児童・生徒からアンケートを行い、2校で5件のいじめが発生し、対応として、全校集会、道徳や学級活動での指導をし、加害児童・生徒への指導、家庭への連絡、さらに警察との連携により、早期対応に努めています。

■伊達市の過疎、中山間地域の対応について



八巻 善一 議員

Q 個人対応という山林から、落石した場合はどうなるのか伺います。

A 個人対応が原則ですが、県に治山事業実施要望を提出し、保安林指定を受けることで治山事業として実施できます。

Q 雪害予防対策見直しの進捗状況について伺います。

A 地域防災計画の見直し作業中であります。内容は、除雪計画、情報伝達体制、近隣市町との連携、防災関係機関との連携、停電の対応、職員の配備体制など自助・共助・公助による役割

Q 道路、山林の落石防止対策について伺います。

A 道路は通常点検、パトリールなどにより発見し対応します。山林の落石は、原則所有者の対応となります。

分担を含めた行動計画を年内中には策定したいと考えております。

Q 小規模小学校の統廃合問題については、地域の話し合い、保護者との懇談、さらに統合に向けての検討委員会の設置などについて伺います。

A 基本方針に基づき、学校の適正配置、規模について基本計画の策定作業を進めています。地域の皆さんの考え、地域振興について統合になった場合の建物の今後の考え方など、具体的に検討すべき段階にきていると思います。

9月定例会審議議案

平成26年第6回定例会で可決された議案について2・3ページに掲載した主なものを除いて説明します。

■条 例

●中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律などの改正に伴い、関係条例の一部を改正する条例を制定しました。

●伊達市立認定こども園条例

市立認定こども園の設置に伴い、認定こども園の名称、位置および準備行為などについて定める条例を制定しました。

●伊達市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。

●伊達市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、放課後児童健全育成事業実施における設備及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。

●伊達市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業における運営に関する基準を定める条例を制定しました。

■これからの施設管理について



佐々木 彰 議員

し、最適な配置を実現するために、この事業を進めております。現在、梁川小学校をはじめ多くの施設の建設が進められています。今後、予測される厳しい財政状況、人口減少社会、超高齢社会などの背景がある中、施設管理をどのように進めるのか伺います。

Q 今年度、伊達市では※ファシリティマネジメント推進事業に取り組み、公共施設の詳しい調査分析を行い、長期的な視点から施設の更新、統廃合、長寿命化などの施設のあり方を検討

A これまで市有財産の管理台帳は十分ではない点がありましたので、昨年度行いました施設の現況調査により、市有財産管理台帳整備事業を行いました。各施設の建物の用途、構造、延床面積、取得年月日など現況を調査

し、なおかつ、これらの情報を全庁で一元的に管理できるネットワークシステムを構築しました。今後、ファシリティマネジメント推進事業として大きく3つのことを考えております。1点目は施設管理に当たつての財政負担の軽減と平準化、2点目は施設管理体制の効率化、3点目は未利用資産の有効活用と計画的な処分などを事業の方向性として捉え、施設の適切な管理運営のあり方、計画的な維持管理、長寿命化などの関連経費の軽減について検討していきたいと考えております。

※「ファシリティマネジメント」経営的視点に立つて建築物などの施設類を有効・適切に計画・整備・運営・管理すること。

■土砂災害防止対策と農業対策について



清野 公治 議員

Q 土砂災害警戒区域などの指定箇所数と災害対策について伺います。

A 土砂災害区域は、霊山133力所、月館7力所の合計140力所です。そのほか県で基礎調査を終了し、説明会の対象

となる箇所は、梁川44力所、保原20力所、月館44力所の合計108力所です。今後、自主的な避難が早めにとれるよう、自主防災組織など地域体制づくりを支援し、注意喚起、啓発に努めていきたいと考えております。

Q 桃のせん孔細菌病に対する支援策について伺います。

A 桃のせん孔細菌病は、桃栽培者の生産意欲減退につながります。農家の経営安定、産地の維持発展のための支援をします。また、防除薬剤に対する支援を検討していきます。

Q あんぽ柿のモデル地区生産と販売対応策について伺います。

A あんぽ柿再開モデル地区が新たに設置され、今年は国見町、桑折町を含め700㌔を見込んでおり、非破壊検査機10台が設置されます。市場、消費地にPRを行い販売の促進を行う考えです。

Q 雪害の対策について伺います。

A 雪害被害は、総額2億1330万円で、再建、修繕事業費は、8億7687万円です。事業費の9割と、撤去は全額を支援しており、営農意欲の衰退を抑え、支援割合を大きくしました。

●伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正に伴い、保育所設置の目的に関して、所要の改正を行いました。

●伊達市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブの管理運営について指定管理者が行うことができるようにするため、所要の改正を行いました。

■補正予算

●平成26年度伊達市一般会計補正予算（第3号）

22億3239万1千円を増額し、予算総額を361億9607万4千円としました。

補正予算の主なものは、2ページをご覧ください。その他の事業として、被災地域情報化推進事業補助金を活用したスマートグリッド通信インタフェース導入費用3億192万5千円、通学路などの除雪のため市内小・中学校へ小型除雪機を配備する費用として1760万5千円、高子駅北地区住宅団地の整備に向けて基本計画を策定する費用1137万5千円、保原総合公園の拡張に向けて基本計画を策定する費用374万1千円、伊達市出身の絵本作家より寄贈のあった民話誌を発行する費用として422万9千円などを計上しました。

●国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

システム改修に伴う特別調整交付金など278万円を増額し、予算総額を75億8043万9千円としました。

●後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

滞納繰越分保険料の確定に伴う後期高齢者医療保険料など271万1千円を減額し、予算総額を6億606万2千円としました。

●介護保険特別会計補正予算（第1号）

介護給付費などの前年度実績に基づき、介護給付費準備基金積立金および償還金など1億2173万9千円を増額し、予算総額を64億3121万6千円としま

■平成26年度全国学力テストの結果について



菊地 邦夫 議員

Q 平成26年度全国学力学習状況調査、全国学力テスト結果について、伊達市教育委員会では、学力結果を公表するのと同じです。

A 小学校の国語A・B、算数Aの3科目については、全国平均を上回り、算数Bはやや下回った状況です。中学校の国語A・Bは全国平均をやや下回り、数学A・Bは全国、県平均を下回りました。結果の公表については、個々の学校名を明らかにした公表は行わず、市全体の結果、平均正答率などについては、結果の分析とその後の方策、取り組みなどと合わせて、まとまり次第公表します。

Q 学習状況調査の結果を受けて、今後の指導について伺います。

A 学校の授業を復習しているかということについては、県平均より低いという結果が出ています。授業以外に1時間以上勉強している割合は、小学生は全国、県平均より上回っていますが、中学生は県平均より低い結果です。ゲームをしている状況については、2時間以上ゲームをしている子どもが、伊達市は高い率を示しています。PTAの皆様との協力と理解をいただき、毎週水曜日を「ノーゲームデー」とし、その日は、読書をする取り組みを展開しています。そのような取り組みを継続していくことで、学力向上につながることを期待しております。

■保原大泉総合公園の拡大整備を



佐藤 直毅 議員

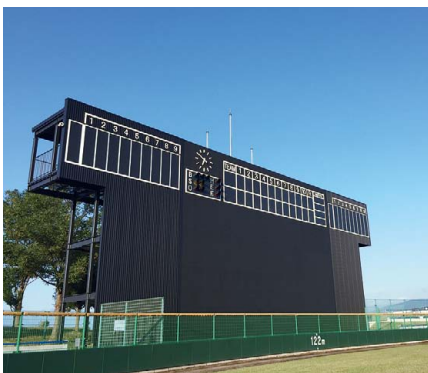
Q 大泉総合公園は、震災後の災害復旧や除染、施設などの再整備により、今後も利用者の増加が見込まれます。現在、駐車場の不足が問題になっていますが、周辺道路の整備や新たなス

ポーツ施設の整備、大泉駅南側の開発など総合的な整備が必要と考えますが、今後の計画について伺います。

A 野球場の整備などにより各種大会の増加が想定されます。駐車場の増設や新たなスポーツ施設の検討も含め、全体的な公園拡充のための基本計画を策定していきます。

Q 伊達市は健康都市を標榜しています。スポーツを通して夢を育むこと、スポーツを通してまちづくりを進めてはいいか

A アスリート育成というよりは、市民が健康向上のため、手軽にスポーツを楽しむことができるまちづくりを進めます。



保原総合公園（ほばら大泉球場）

した。

●公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

前年度決算剰余金の確定による繰越金の増額および一般会計繰入金金の減額補正などにより、102万円を増額し、予算総額を10億2667万6千円としました。

●栗野地区農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

前年度決算剰余金の確定により、繰越金430万1千円を増額し、予算総額を1914万7千円としました。

●工業団地特別会計補正予算（第1号）

前年度決算剰余金の確定により、繰越金6万8千円を増額し、予算総額を516万6千円としました。

●月館宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）

前年度決算剰余金の確定により、繰越金207万1千円を増額し、予算総額を2789万9千円としました。

●各財産区特別会計補正予算

梁川・白根・山舟生・富野・富成・柱沢・上保原・金原田・掛田・小国・大字掛田・大石の各財産区特別会計は前年度繰越金の確定により、繰越金などを補正しました。

●水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収支は、消費税および地方消費税の増額により、支出を362万4千円増額し、補正後の額を20億4676万4千円としました。また、資本的収支は、上小国地区水道施設整備事業に係る福島再生加速化交付金の交付決定に伴う企業債の減額および補助金、出資金など増額補正により、資本的収入を104万8千円増額し、補正後の額を3億8982万9千円とし、資本的支出を299万9千円増額し、補正後の額を10億1812万5千円としました。

■障がい者支援、業務改善推進事業について



近藤 眞一 議員

Q 広汎性発達障がい児は今後も増えると思われます。養護学校の設立も必要と考えますが、どのような教育環境の整備や支援をしていく考えがあるか伺います。

A 養護学校の設立は、一昨年12月に要望書を提出し、本年7月にも教育長が伊達市、伊達郡への分校設置の陳情をしました。今後も機会あることに要望を続けていきたいと思っています。支援が必要な子どもたちに、毎年少しづつではありますが、特別支援介助員の増員をしながら配置に努めています。今年度は小・中学校合わせて34人の介助員を配置しました。今後も必要な支援を継続していきたいと思っています。

Q 860万円の予算を使う、業務量の軽減による省人化とは、具体的にどのような方法で行われているのか伺います。

A ジャストインタイム（必要なものを、必要なときに必要なだけ）生産方式の考えによって、無駄の排除による業務量の削減、仕事の問題点の顕在化で改革改善を進めるという事業展開をしています。業務量の軽減化で、業務に携わる人員を減らすことにより、人員や新たな課題への対応など、少ない人数で業務ができないかというところで、業務改善を行っているところであります。

■介護保険制度改定について



佐藤 清壽 議員

介護保険制度から外れて、市が行うサービス提供に移行するのですが、その場合、伊達市はどのようなサービスを提供する方針で臨むのか伺います。

Q 来年度からの介護保険制度の改正は、医療介護一体改革に向けた第一歩で医療から介護へ、そして施設から在宅へと、その方向に踏み出したものです。法施行後、要支援1・2の人が介

A 要支援1・2の人が利用するデイサービスが地域支援事業に移行されますが、その場合、伊達市が今、行っている地域支援事業には高齢者の筋トレ、脳トレ、脳の健康教室、栄養改善、口腔機能の向上、それから認知症家族の会、ほかに介護予防の出前講座があります。そこにプラスして訪問介護や通所介護が、地域支

援事業に入るということで、中身が変わるというものではありません。

Q 利用料が現在は一律に1割負担ですが、来年、法施行後、一定以上の所得のある人は、2割負担になるとしていますが、所得要件を伺います。

A 2割の人を対象とした場合、合計所得金額が160万円、年金収入で単身者年金収入280万円以上、夫婦で359万円以上という試算が出ています。介護保険制度では、自己負担の月額上限があり、該当する方全員が2割になるということではありません。

■決算

平成25年度一般会計歳入歳出決算ほか21件について、監査委員の意見を添えて、議会の認定に付されました。

●平成25年度一般会計歳入歳出決算を「不認定」

平成25年度一般会計歳入歳出決算については、審査の中で、市道側溝除染業務委託が行われ、未施工区間が発覚、施工が完了されていないにも関わらず、十分な検査も行われないうまま施工業者に全額支払われている事実があること、また、市・議会双方で調査委員会などが設置され前代未聞の状況が発生している中で、決算認定を行うことができない、との意見などが多数出され、採決の結果「不認定」となりました。

その他の21件の会計の決算については認定するものと決しました。

※決算の概要については、「市政だより11月号」をご覧ください。

■意見書（委員会発議）

9月定例会で可決した次の意見書を関係大臣などに送りました。

●軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書

■追加議案

【補正予算】

●平成26年度伊達市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

消費税納付額が確定したことによる補正で、歳出の公課費737万円を増額し、流域下水道管理費負担金を737万円減額しました。

■CエリアもA・Bと同じ全面除染を！



丹治千代子 議員

Q 仁志田市長は、後援会報に「Cエリアも除染して復興を加速する」と書きました。この会報を読んで「CエリアもA・Bエリアと同じように除染する」のだと理解しました。多くの市民

もわたしと同様に理解したと言っております。6月の同僚議員の一般質問に対して、市長の答弁がありました。わたしは納得できません。もう一度、Cエリアの除染について市長の考えを伺います。

線量に応じた地域に分け、それぞれ違う除染方法をとったということです。選挙の中で申しあげたのは、市民の皆さんが安心できないという声があるので、安心を得るために考えたのが、フォローアップ除染です。納得できないということに対しては、丁寧な説明をしていくと同時に、Cエリアで線量の高い地域があるならば、必要な除染をする「フォローアップ除染を実施する」というのが公約です。

■「道路の管理と予防保全」および「防犯灯のLED化」について



大條 一郎 議員

Q 市道においても表面だけではわからない地中の空洞化が進んでいる可能性があり、市民の交通における安全確保のため、早急に調査する必要があると考えます。事後保全型から予防保

全型にシフトし、補修計画を立てるべきと考えますが、当局の所見を伺います。

A 国の補助事業で道路の総点検を実施する予定です。その中で舗装面の調査についても路面の性状調査やひび割れ、さらには、路面下の空洞化によるものなのかなども、一定程度分析しながら、その後の修繕工法を検討し、修繕計画を策定する状況です。伊達市としても補修を含めた計画をつくりま

Q 防犯灯をLEDリース方式にすれば初期費用が抑制され、財政負担が軽減されます。さらに、導入後の電力消費量も抑えられ、節電とコストダウンを同時に実現することが期待されます。防犯灯のリース方式によるLED化について、市長の所見を伺います。

A リース方式にすれば職員

議員定数等議会改革特別委員会を設置

伊達市議会では、平成25年6月、第3回定例会において「議会議員定数に関する特別委員会」を設置し、先進地の視察、調査、研修を重ね、平成25年9月、第4回定例会で、次のように報告を行い、承認されました。

「調査の中では、将来の議員定数は22人が適当であるとの意見が多数を占めたが、伊達市の現況は、放射能災害からの復興や、相馬福島道路の開通に伴う新たなまちづくり、地域自治組織など市と市民との協働の関係など、多くの課題を抱えていることや、議会の活性化、議会の組織・常任委員会のあり方など、議会改革を先行すべきである、とのことから、当面、議員定数は、現状維持にすべきである、との結論に至った。」

また、引き続き、議員定数も含め、議会活性化に向けた議論を重ねる必要があるとの意見も付されておりました。

今後は、先の特別委員会の報告を踏まえ、8人の委員で構成する「議員定数等議会改革特別委員会」を9月定例会で設置し、平成28年3月定例会まで、次の事項の調査検討を行います。

- 議員定数に関すること。
- 議員報酬に関すること。
- 費用弁償に関すること。
- 政務活動費に関すること。
- その他、議会改革に関することについて

議員定数等議会改革特別委員会

委員長	大橋 良一	副委員長	佐藤 直毅
委員	近藤 眞一	委員	大和田俊一郎
委員	佐藤 実	委員	高橋 一由
委員	熊田 昭次	委員	清野 公治

■進行中の事業の進捗について



大和田俊一郎 議員

Q 実施設計、さらには用地買収が実施されており、平成26年度の事業としては排水機場から、国道349号までの450mの区間について、工事用道路改良および排水機場の建設委託業務が行われます。完成については、平成30年度の見込みです。

Q 現在、梁川町五十沢地区で進められている県営湛水防除施設の建設について、今までの経過と今後の計画を伺います。

A 平成25年度までの2力年間で全体設計、測量および

Q 梁川町に建設予定の国道349号梁川バイパスについて伺います。

A 県で、全体延長約2.7kmで計画している路線ですが、梁川病院の前から山城館の分岐の区間まで約1400mについて

Q 梁川小学校の進捗について伺います。

A 8月末現在で、約50%の出来高となっています。躯体工事の完了したフロアから順次仕上げ工事をしており、3月には卒業式が行われるよう努力しています。

■ふるさと納税で全国にPRを！



菅野 喜明 議員

Q 湯川村や静岡県西伊豆町などを参考に、どのように伊達市のふるさと納税制度の充実や工夫ができるのか伺います。

A ふるさと納税制度が始まった際に、伊達市出身者の寄付を想定し、制度をつくりま

したが、今後、伊達市出身者以外の方にも、伊達市のPRとして、伊達市を知っていただくという観点から具体的に取り組んでいきたいと思っています。

Q 育児支援のため、子育てタクシ制度が秋田県などで行われています。特に山形県村山市では、子どもの通園・通学や夜間の発熱などでの子育てタクシの利用に助成をしています。本市で導入される計画があるのか伺います。

A 村山市での子育てタクシへの助成事業が、平成27年度から施行される子ども・子

Q 防火水槽の除染を福島市大波地区で実施という報道がありました。市は除染を行うのか伺います。

A 除染の基準を設けており、8000ベクレル以上、泥が10cm以上堆積しており、住宅や公園があることなどが総合的な判断の目安になります。

みなさんからの請願・陳情

9月定例会で受理したのは、請願1件、陳情1件の合計2件でした。

所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決しました。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
採 択 (産業建設常任委員会)	通学路の安全確保に関する請願書	〒960-07 伊達市梁川町新田字南荒野 伊達市立堰本小学校PTA 会長 佐藤 正美
採決の結果	陳 情 件 名	陳 情 者
採 択 (文教福祉常任委員会)	軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情	〒579-80 大阪府東大阪市六万寺町 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子

A portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a striped tie. He is looking slightly to the right of the camera. The background is a blurred indoor setting with vertical lines.

Q 市は、相当数の方が不携帯となっているガラスバツジの測定結果を用い、多数の市民が年間1ミリシーベルト未満の外被ばく量であるとし、Cエリアの全面除染を行わないとしています

ジの測定結果を用い、多数の市民が年間1ミリシーベルト未満の外に被ばく量であるとし、Cエリアの全面除染を行わないとしている。

A portrait of a middle-aged man with dark, wavy hair, wearing a dark suit jacket, a light blue shirt, and a dark bow tie with a small pattern. He is looking slightly to the right of the camera. A microphone is visible in the lower right corner of the frame.

Q Cエリア、フォローアップ除染で、アンケート調査に回答されなかった市民への除染対応について伺います。

A 調査票をいただいております約30%の方々からまず

Q Cエリア、フォローアップ除染で、アンケート調査に回答されなかった市民への除染対応について伺います。

A 調査票をいただいております約30%の方々からまず

A その学説は承知していないが、諸説さまざまで、ご指摘の件も含め、専門家の意見を受け判断していきます。

対応し、その他の70%の皆さんにも入り口を閉ざしてはおりません。意見を聞けるかたちにしていきます。

Q Cエリア全面除染は市長選時の公約であります。市民のこと、これから子どもを産もうとするお母さん方、小さい子どもさんをお持ちのお母さん方のことと考えたら、どんなことがあってもCエリアの全面除染を実施すべきです。市民は、市長を信じて投票されました。信頼に応えることが、市長の最大の責務ではないですか。今の伊達市は市民の大切な声が行政に反映されにくい、届

A 国・県をとおした信頼度の高い情報であれば、対応はやぶさかではないと思っています。

きにくい状況下にあります。市長の考えを伺います。

A Cエリアの除染はフローアツプ除染ということとで、何のためにやるのかということとは、安心のためにやるということとで、どうしたら安心していただけるかが先になるのであって、除染ありきということではないと思います。

Q どのような理由があろうとも、市民との約束を守ることは当然のことではないか伺います。

A 市民の信頼に応えるよう
努力していきます。

住民が地方公共団体や地方議会などに対し、要望や意見を述べることを請願といい、憲法第16条の基本人権や地方自治法第124条により請願権が認められています。

議員の紹介のあるものは請願書、ないものは陳情書として提出できます。

議会に提出された請願は、内容により所管する常任委員会へ審査され、本会議において採択・不採択を決定します。

請願書は、邦文により、文書で市議会議長あてに提出してください。記載していたく事項は次のとおりです。

- 1、 件名
- 2、 請願の趣旨
- 3、 提出年月日
- 4、 請願者の住所
- 5、 請願者の署名または記名押印
（法人の場合は名称と代表者の
氏名）
- 6、 紹介議員の署名または記名押印

(注意)

請願は原則として3、6、9、12月の年4回開催される市議会定例会で審査されますが、各定例会に上程する受付締切（議員の申合せにより議会開会前に開かれる会派代表者会議の前日正午）がありますので、詳しくは議会事務局（電話 024-575-11217）にお問い合わせください。

受付締切後に提出された請願は、次回の定例会で審査されます。
なお、受付は、平日の執務時間中に伊達市役所３階の議会事務局で常時行っています。

陳情の取り扱いは原則として請願に準じますが、本会議に上程するかは議会運営委員会で決定します。

陳情書の書き方および提出方法は、請願書と同様ですが、紹介議員は必要ありません。

表紙	本文
(件名) ○○○○に関する請願書	(件名)○○○○○○○ 請願の趣旨 何々・・・・・・・・・・ 平成 年 月 日 伊達市議会議長 ○○○○様 紹介議員 ○○○○ ㊦ (署名又は記名捺印) 住所 (代表者の) 氏名 ○○○○ ㊦ 外 名

9月定例会賛否一覧表

※これ以外の案件は全会一致で可決・認定されました。

議席番号 議員名	議案等	議案第79号 伊達市放課後児童 クラブ条例の一部 を改正する条例に ついて	議案第101号 平成25年度伊達市 一般会計歳入歳出 決算認定について
		賛成○、反対●、退席\	
1	近藤 眞一	●	●
2	橘 典雄	○	●
3	佐藤 清壽	●	●
4	菅野 喜明	●	●
5	佐藤 直毅	○	●
6	丹治千代子	●	●
7	大和田俊一郎	○	●
8	菊地 邦夫	○	●
9	佐々木 彰	○	●
10	小野 誠滋	○	○
11	佐藤 実	○	●
12	大條 一郎	○	○
13	菅野與志昭	○	
14	中村 正明	●	●
15	高橋 一由	●	●
16	熊田 昭次	○	●
17	清野 公治	○	●
18	原田 建夫	○	●
19	半澤 隆	○	○
20	八巻 善一	●	●
21	松本 善平	○	●
22	吉田 一政	○	○
23	滝澤 福吉	○	●
24	大橋 良一	○	●
25	安藤 喜昭	議長は採決に加わらない。	
賛成・反対		賛成17：7反対	賛成4：19反対
議決結果		可 決	不 認 定

議 会 の う ご き

伊達市議会では、議会基本条例に基づき、議会と市民の相互の意見交換の場として毎年議会報告会を開催しています。

平成26年度は、前期と後期の2回に分けて市内22カ所で開催する予定です。前期は7月24日、25日に10カ所で開催しました。

詳しい内容については、別冊の「議会報告会特集」をご覧ください。



7月24日 栗野地区

議会報告会を開催

議会を傍聴してみませんか

市民の皆さんは、自分たちの代表を選挙により議会に選出しておりますが、身近な問題がどのように審議され決定されていくのか、また、皆さんの代表者がどのように意見・要望を反映させてくれているのかなど、会議の状況を傍聴することができます。「議会基本条例」の制定に伴い、本会議のほか、委員会も傍聴することができますようになりました。簡単な手続きで傍聴できますのでお気軽にお出かけください。

なお、団体で傍聴される場合は事前に議事事務局へご連絡ください。（電話024-575-1217）

12月定例議会の予定

○11月27日(木)午前10時に招集される予定です。伊達市議場（伊達市役所保原本庁 議会棟3階）
※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【電話 024-575-1217】

編集後記

10月初めに、霊山こどもの村で、こどもフェスティバルというイベントをお手伝いしました。当日は雨にもかかわらず、1500人以上の入場者を数え、震災以後の入場者記録を更新しました。しかし、今年の入場者は震災前の3万人以上には到底およびず、1万人くらいと聞いております。

震災・原発事故から3年半がたちましたが、あんぽ柿の生産自粛も一部で続いています。復興に向けて、これからの3年半が、これまでの3年半よりも重要になるのではないのでしょうか？復興にご協力賜りますよう、よろしくお願いたします。（喜）

議会広報委員会

委員長 大條 一郎
副委員長 菅野 喜明
委員 中野 正明
委員 佐藤 実
委員 佐々木 彰
委員 佐藤 直毅